

視覚化する味覚

アメリカ消費主義社会の台頭と「エスティクス」の変遷



講師：久野 愛 (ひさの・あい) 氏

東京大学大学院情報学環・学際情報学府 准教授

【略歴】デラウェア大学歴史学研究科修了、PhD（歴史学）

ハーバードビジネススクールにてポスドク研究員、京都大学大学院経済学研究科にて講師を務めたのち、2021年4月より現職。

専門は、感覚・感情史、ビジネスヒストリー、技術史。

『Visualizing Taste: How Business Changed the Look of What You Eat』（ハーバード大学出版局、2019年）でBusiness History Conference Hagley Prizeおよび日本アメリカ学会清水博賞受賞。近著に『視覚化する味覚—食を彩る資本主義』（岩波新書、2021年）。

報告要旨

19世紀末以降、技術革新や資本主義システム拡大により人々の感覚体験は大きく変化した。企業は、それまで主観的なものと考えられてきた感覚を客観的かつ科学的に解明し操作できるものとして扱うようになったのだ。本講演は、食べ物の色に焦点を当て、1870年代から20世紀初頭の米国で、いかに「自然に」見える色が作られてきたのか、さらに視覚世界の変化に伴い人々の自然観がどのように変化したのか考える。

2022年11月18日（金）16:40-18:10

使用言語：日本語 (Japanese)

オンライン開催 (Zoom)

参加無料・要事前登録 (下記URLをクリックしていただくか、QRコードからご登録ください)

登録期間：11月15日（火）まで

登録用URL: <https://forms.gle/VwwHijphQEkZc1BJ9>



お問合せ: 同志社大学アメリカ研究所
/IIAS Doshisha University

Mail: ji-amekn@mail.doshisha.ac.jp
Tel: 075-251-4900

